

避難生活で 命と健康、守れますか？

被災地の実情から学ぼう！

女性/男性・子ども・高齢者・障がい者などの視点から

12月5日(土) 10:00～11:30
11:30～12:00 (自由参加)
講師への質問・相談コーナー

●会場

逗子市役所5階会議室
(逗子市逗子5-2-16)

●定員

先着30名

※参加費無料

大規模災害では、建物の倒壊などによる直接死だけでなく、避難生活中的健康被害や災害関連死が問題となっています。避難生活には、衛生・栄養・育児・介護・プライバシー・防犯など、さまざまな課題があり、これらは女性/男性・子ども・高齢者・障がい者など、立場によって見える景色が大きく異なります。様々な視点から防災について考えましょう。
令和6年能登半島地震・令和8年熊本地震等の被災地の実情を交えながらお話しします。

講師 浅野 幸子 氏

・減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表

・早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員

阪神・淡路大震災の被災地での4年間の支援活動を契機に防災に取り組む。

その後も市民団体で働きながら大学院に進学。博士(公共政策学)。専門は災害社会学、地域防災、災害とジェンダー・多様性。内閣府「避難所運営ガイドライン」「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」など国・自治体の政策にも関わる。



【問合せ・申込み】11月4日(水)午前9時より受付開始

①氏名・ふりがな②住所③電話番号④メールアドレスを

電話 046-873-1111(内線268)、または直接、市民協働課まで。HPからも申込可。

定員に達し次第、受付を締め切ります。(最終申込締切日12月1日(火))

手話通訳・要約筆記をご希望の方は11月25日(水)までに

お申込みください。

HPは
こちらから



お子さま同伴可(お子さまの様子によっては一時退席をお願いする場合あり)

主催:逗子市 共催:かなテラス(神奈川県立かながわ男女共同参画センター)